

『統合的な中国語能力の要点』

—HSK（漢語水平考試）に関する実践的教育からの考察—

Important Point about the Integrated Chinese Education

北京大学对外漢語学院 劉 超英・趙 延風¹

新潟大学国際センター 藤田 益子*

1. はじめに	49
2. 漢語水準考試（HSK）の概要	50
3. 北京大学对外漢語教育学院と漢語水準考試（HSK）	53
4. 『HSK（漢語水平考試）対策準備講座』について	54
5. 統合的な中国語能力とは	83
6. アンケート調査について	85
7. まとめ	90

1. はじめに

1. 1 概略

HSKとは、中国の教育部が設けた「漢語水平考試」の略称で、中国語を母国語としない中国語学習者のための中国国家唯一公認の中国語能力認定標準化国家試験である。この試験で一定の級を取得することは、中国留学に際し不可欠な条件になりつつあり、受験に関する学生への指導の必要性の高さを感じていた。そこで、2005年には試験に関する解説と今後の展望について、北京大学、東京外国語大学、愛知大学、日本学生支援機構から関係者を招聘し、学内外に対してフォーラムを開催した。2006年2月には、北京大学对外漢語学院から、HSK教育の専門家である劉超英先生と趙延風先生を招聘し、HSKの受験対策のための集中準備講座を開講した。

1. 2 現状

中国国内では、北京大学等の大学が中心となって、受験用対策講座等を開講している。日本国内では、一部の私立大学などで、大学の授業の中国の専門科目の一環として実施しているものや、外国語教育センターなどが講座を開いている大学もある。

新潟大学では、現在、全学向けのこのようなHSKへの受験対策講座は見当たらない。学生からは、昨年のフォーラムのアンケートなど、本学の中国語教育に対し「ネイティヴの授業

* 新潟大学国際センター 助教授

でありながら、日本語で行われているためヒアリング能力がつかない。」「語学検定試験への対策は不十分である」などの意見が出されていた。

そこで、このような問題に対処すべく、北京大学对外漢語教育学院のHSK教育の専門家による、中国語の「聞く、書く、読む」の総合的な理解力アップを目指した、中国語の特別集中講座を行なうこととなった。

(藤田益子)

2. 漢語水準考試 (HSK) の概要

「漢語水平考試」の略称で、中国語を母国語としない中国語学習者のための中国国家唯一公認の中国語能力認定標準化国家試験である。中国の国家漢語水平考試委員会は、HSKの全権を担い、中国国内外のHSKを主催し、HSK証書（漢語水平証書）を発行する。

現在、より具体的な目的に応じて中国語の運用能力が測れるよう、従来のHSKに加え、ビジネスや観光に照準を絞った新しい種類のHSKの開発が進んでいる。

以下、主なものを簡単に紹介する。

2. 1 HSK （従来からの基本的な中国語の能力試験）

2. 1. 1 HSKの役割

(1)中国留学へのパスポート

1995年12月、中国国家教育委員会は、中国の各大学に対して外国人留学生の入学にあたっては「HSK証書」を基準にするよう正式な規定（「外国人留学生が漢語水平証書により大学入試を行うことについての規定」）を設けた。

規定では、中国の大学で四年制の大学教育を受けようとする外国人留学生は、必ずHSKを受験し、専門ごとに示された最低レベルの「HSK証書」を取得して初めて正式に大学に入学することが出来ると定められ、1996年より施行されている。²また、多くの大学で語学研修コース（漢語進修生）のクラス分けにもHSKが利用されており、中国の大学に留学しようとする場合、各大学で定められた一定の基準として「HSK証書」による「級」の認定が必要となっている。つまり、HSK証書は中国留学へのパスポートということになる。

(2)中国語能力を証明する公的資格

また、HSKは中国語学習者にとってその語学力を試し、公的資格を得るチャンスである。就職・転職、そして国際的な場で活躍する舞台を広げるための中国語能力の基準証明として重要な役割を果たす。

2. 1. 2 実施状況

HSK試験は、中国国内の33の主要都市で5月、7月、12月の年3回実施しているほか、海外ではシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ミャンマー、ベトナム

『統合的な中国語能力の要点』

ム、日本、韓国、アメリカ、カナダ、ロシア、ハンガリー、ドイツ、フランス、イタリア、イギリス、オーストリア、ベルギー、フィンランド、スウェーデン、デンマーク、オーストラリア、ニュージーランド、スペイン、チェコ共和国、モンゴル共和国、ブルガリア、スイス、メキシコ、オランダ、ウクライナ、セルビア共和国等33カ国92都市で実施されている。

外国企業の中国進出や中国への留学生の増加を背景にHSK受験者の数も年々増えており、2004年9月現在、HSKの累計受験者数は、世界120カ国の40万人となった。

日本では、春季は東京、名古屋、大阪で、秋季は東京、名古屋、大阪、福岡、沖縄で、年に2回実施されている。

2. 1. 3 試験の概略

HSKは、基礎漢語水平考試、初中等漢語水平考試と高等漢語水平考試からなっており、受験者が同一の試験問題（HSK基礎はヒアリング、文法、読解の3種類140問、HSK初中等はヒアリング、文法、読解、総合穴埋めの4種類170問）に取組み、受験者の得点（スコア）をそれぞれの等級（基礎 1級～3級、初中等3級～8級）に換算し（級の多い方が上級）、規定の等級に達すれば、中国国家漢語水平考試委員会より「漢語水平証書（HSK証書）」が授与される。

<HSK等級と証書の種類>³

		HSK高等	
		高等A級証書	11級
		高等B級証書	10級
		高等C級証書	9級
		HSK初中等	
		中等A級証書	8級
		中等B級証書	7級
		中等C級証書	6級
		初等A級証書	5級
		初等B級証書	4級
		初等C級証書	3級
		HSK基礎	
		基礎A級証書	3級
		基礎B級証書	2級
		基礎C級証書	1級
		HSK証書	なし

<HSK証書、成績表のサンプル>



2. 1. 4 HSK証書の効用

- ①中国の大学に正規留学を希望し、学歴取得のための教育を受ける際に、要求される中国語能力の証明となる。
- ②所定の等級の中国語課程の履修を免除する際の証明となる。
- ③求人側が中国語要員として採用する際の中国語能力認定証明として用いられる。
- ④就職する際の中国語能力基準証明として用いられる。

2. 2 ビジネスHSK（正式名称：商務HSK）

2. 2. 1 ビジネスHSKの役割

(1)ビジネスで通用する中国語能力の指標

「ビジネスHSK」は、ビジネスに従事する中国語を母語としない方の中国語レベルを測るために考案されたスタンダードな国家試験であり、中国国家漢語水平考試委員会が北京大学に委託して開発されたものである。英語ではChinese Proficiency Test for Businessと呼ばれる。ビジネスHSKでは、ビジネスや日常生活、社会的交流のなかで、実際に中国語を用いてコミュニケーションを行う能力が測られる。

ビジネスHSKは、ビジネスに従事する者の中国語レベルを評価する必要がある全世界の各種機関の需要を充たすものである。

(2)試験の用途

その主な用途には具体的に以下のようなものがある。

- ①組織における採用、選抜、養成などの人事面での決定に際して、関係者のビジネス中国語レベルを評価する参考材料を提供する。
- ②大学などにおける学生募集、クラス分けの決定に際して、学生のビジネス中国語レベルを評価する参考材料を提供する。
- ③中国語学習者が、自分のビジネス中国語レベルを理解し、いっそう向上させるための参考材料を提供する。
- ④教育機関、養成関連機関での教育・トレーニング効果を評価する参考材料を提供する。

2. 2. 2 受験対象者

ビジネスHSKの対象者は、母国語が中国語ではない者である。中国語のレベルがHSK・3

級（基礎HSK・A級もしくは初級HSK・C級）以上に相当する者が、受験に適している。

2. 2. 3 試験の概略

2004年2月下旬には、北京大学においてビジネスHSK専門家グループによる最初の会議が開かれ、言語学、英語試験、HSK試験、文化、ビジネス、教育統計、試験評価などの各分野の専門家によって、ビジネスHSKの試験紹介、試験大綱、等級基準、出題サンプル、評価基準、コミュニケーション能力項目表、および常用語句表などの文章について、検討がなされた。研究開発事務局では、同年の9月、10月に、北京、上海、アメリカ、韓国の四つの会場で、大規模な試行試験を実施した。今後は、世界規模で本試験を実施していく予定である。

（藤田益子）

3. 北京大学對外漢語教育学院と漢語水準考試（HSK）^{iv}

3. 1 北京大学對外漢語教育学院

北京大学は、様々な分野の学術研究において中国屈指の一流大学あり、對外中国語教育の分野でも最も古い歴史を持つ学校の1つである。中華人民共和国成立以来、初の外国人留学生向け中国語研修クラスを設置し、海外に初の中国語の教授を派遣、對外中国語教材『漢語教科書』を出版するなど各方面で、その教育、研究における実績は、世界的に高く評価されている。

北京大学の對外漢語教育学院は、同大学の外国人向け中国語教育のレベルアップ、留学生を専門分野の学習にスムーズに移行させるための教育補助など、優秀な人材を育成するための基礎作りを行っている。更に、現在はより実用的な科目も設置し、国際政治、経済、外交、商業貿易、文化交流など多方面での知識を有する人材の育成にもポイントを置いている。また、国内外で活躍出来る中国語教師の育成にも力を入れており、多数の大学院生が在籍し、中国語教育に関する指導を受けている。

3. 2 北京大学對外漢語教育学院と漢語水準考試（HSK）

ここ数年、中国経済の発展、北京オリンピック開催決定、中国の世界貿易機関（WTO）加盟などに伴い、世界的に中国語、中国文化、中国ビジネス、中国旅行への関心が高まっている。このような世界情勢を背景として、1998年の中国漢語水平考試（HSK）の受験者数は5万人程度であったのに対し、2000年には8万人に増加、2001年には最初の半年だけで4万人を超えた。また、多くの国で高いレベルの中国語能力を有する人材を求める企業が増えており、北京大学對外漢語教育学院独自の教材開発や、教育方法、教育理念などの研究に中国国内外から、一層の期待が寄せられている。

そこで、2003年以降、「国家漢語事務局」の委託を受け、北京大学對外漢語教育学院は、ビジネスHSKの研究開発を担うことになった。その後、専門家による準備段階を経て、2003年9月、ビジネスHSKの開発が北京大学で正式に始動した。ビジネスHSKの開発は国家ポイント研究開発項目であり、「国家漢語事務局」に対して直接責任を負うもので、對外漢語教育の

分野で幅広い注目を集めるとともに、北京大学指導部からも強力な支持を得ている。

ビジネスHSK研究開発事務局は、北京大学对外漢語教育学院を拠点とし、各種大学・学院、各専門家から構成されている。

(藤田益子)

4. 『HSK（漢語水平考試）対策準備講座』について

4. 1 講座の設定

詳細は以下のとおりである。

期間：平成18年2月20日～24日（5日間）

時間：午前9時～正午12時（午後は、オフィスアワーを実施。）

場所：総合教育研究棟D棟 3階 国際センター 第1・3教室

講師：北京大学对外漢語学院 劉 超英 先生

趙 延風 先生

対象：新潟大学学生（但し、中国語の学習経験の無い者は参加できない）

レベル：中国語初級、中級学習者を基準とし、レベル別に2クラス設置する。

クラス分け：希望を優先するが、学習状況などにより教員の指示に従うこと。

初級クラス：HSK初級レベル3級程度を目指す者

中級クラス：HSK初級レベル5級以上を目指す者

定員：各クラス10名

（定員を超えた場合は選抜を行なうこととしていたが、実際には人数調整は行なわなかった。）

4. 2 講義の内容

以下は、具体的なHSKの内容説明と対策、ならびに学生の学習状況の記録である。

4. 2. 1 初級クラス

<2月20日>

I. 講義内容

i. HSKの出題構成ならびに時間配分

HSK（初、中等）は四つの項目で構成されている。

内容	出題数	回答時間
ヒアリング	50題	約35分
文法	30題	20分
読解	50題	60分
総合（穴埋め）	40題	30分
合計	170題	145分

ii. ヒアリングの部分のポイントは次のとおり。

- ・ 第一部：センテンス、15題。
- ・ 第二部：簡単な対話、20題。
- ・ 第三部：対話或いはスピーチ、15題。

(1)第一部の形態

第一部（15題）：一人目が第一文を話し、二人目が一人目の話しに対して質問をする。聴き終えた後、答案用紙の上の四つの選択肢の中で最も適切な解答を選ぶ。

【例1】

第一个人说：现在差十分七点。

第二个人问：现在是什么时候？

你在试卷上看到四个答案：A. 七点十分 B. 七点 C. 十点七分 D. 六点五十

正解：[D]

(2)主なポイントと難しい点

- ①一つの出来事の過程を要約、叙述
- ②複数の人物、或いは事柄の相互関係
- ③数字と計算
- ④語句に関連すること
- ⑤決まったフレーズと慣用句
- ⑥語気（ニュアンス）と態度（話し振り）

(3)主な対策

- ・ 素早く選択肢を読む。選択肢の中で多く出てくる単語は一般的に既知の情報として考えてよい。異なった部分は問題のポイントであり、集中して聞くべきところである。
- ・ 内容と問題を予測する。
- ・ 目的を持って聞く。記号や記録をとる。
- ・ 落ち着いて計算、推理、判断し、不必要な情報を削除する。

(4)第二部の形態

第二部（20題）：全て男性と女性の簡単な対話である。三人目の人物が会話に基づいて質問をする。聴き終えた後、答案用紙の四つの選択肢の中からもっとも適切な答えを選択する。

【例2】

第一个人：你怎么了？

第二个人：头疼、发烧、睡不好觉，不想吃东西。大夫，是不是感冒了？

第三个人问：女的正在做什么？

你在试卷上看到四个答案：A. 睡觉 B. 学习 C. 看病 D. 吃饭

正解：[C]

(5)ポイントと難しい点

- ①場所と方向について
- ②職業、身分と人物の関係について
- ③計画と行動について
- ④推理と判断について
- ⑤反語について
- ⑥否定形の質問について

(6)主な対策

- ・ 答案用紙の選択肢から問題を予測する。二人の会話を聞いて初めて正確な回答を行うことが出来る。もし、一人目の内容のみを理解して、それに基づいて回答するなら、それは危険な選択法である。
- ・ 反語や間接的な回答の表現方法に注意する。対話の進行に基づいて推理、判断すべきものもある。否定形式の質問に注意しなければならない。
- ・ 四つの選択肢が比較に短く、語彙の性質・意味が似ている場合、問題形式が「下のどの一つには言及していないでしょうか？」といった形式の場合もあるので注意する。
- ・ 記号をつける準備をしておく。

(7)第三部の形態

第三部（15題）：数行（4～6行）、または、比較的長い対話（10センテンス程度）、或いは演説（字数は100字～400字余りと一定ではない）である。問題文を聴いた後、若干の質問（2～5題）が出され、一問ごとに受験生は解答用紙の中の四つの選択肢の中から最も適切な回答を選択する。

【例3】

第38-39题，你听到：

38-39题是根据下面一段对话：

女：吃饭了吗？

男：刚吃过，你上哪儿去？

女：上商店买东西。

男：你姐姐在家吗？

女：不在，她看电影去了。

第三个人根据这段对话提出两个问题：

38. 他们是在哪儿谈话的？

你在试卷上看到四个答案：A. 食堂 B. 商店 C. 电影院 D. 去商店的路上

正解：[D]

39. 女的姐姐正在干什么？

你在试卷上看到四个答案：A. 学习 B. 看电影 C. 吃饭 D. 买东西

正解：[B]

(8)主なポイントと難しい点

- ①長い文章
- ②ニュース
- ③お話
- ④社会問題および個人的観点
- ⑤一般知識および一般大衆向きの科学

(9)主な対策

- ・この部分は問題文が長いので、予測することが非常に重要である。この部分の説明と問題文を放送する前にある時間を活用し、出来る限り、早く選択肢を読み、問題を予測する。
- ・「36～38の問題は下の問題文に基づいて」という部分を聞きいたとき、この短い文の中にくつ問題があるのか、その順番、かつ、この文章のタイプ（例：お話なのか？/報道文なのか？）、主題（例：気候のことなのか？/学校紹介なのか？）を素早く予測する。
- ・問題文を聞くときは予測したことをふまえて、要点を捉え、キーワードをつかみ、要約する。この部分のポイントは一般的に①文中の基本事実（時間、場所、数字、人名、原因などの細かい内容を含む）。②人物の観点と態度。③文章の大意と中心となる考え方である。
- ・もし、選択肢の中に時間、場所、数字、人名、原因などの細かい内容を含んでいるなら、関連する情報を注意して捉え、聞きながら声調、ピンインなどの要点を速記する。回答するときにも、段落ごとの要点整理にも役立つ。
- ・この部分は主に、受験生が「ハードルを乗り越え、その中の主な情報、或いはいくつかの細かな事象をつかむ」ことが出来るかどうかを見ており、出題者は故意にハードルとなる単語を置いている。難しい単語、文章を聴いても、あわててはいけない。問題と関係がない可能性もあるからである。また、もし例え、関係があったとしても続けて聞き、上下の文章からその語彙や文の意味を推測することが重要である。

II. 学生の状況

学生の中国語の水準は比較的 low、ヒアリングはとても難しい部分なので、授業時は基本的に一度テープを聞き、その後、先生と共に一度読み、更にもう一度聴く方法をとった。学生には徐々に授業に慣れてもらい、同時に聞き取りに対する自信を持たせたい。

学生は難しいと思っていると反面、収穫もあるようだ。ある学生が「どの語も全て理解出

来るわけではないが、大方の意味はわかった。」と言っていた。

その他に、HSKの試験するおおよその状況について、学生は一定の理解をしているものと思われる。

<2月21日>

I. 講義内容

i. 文法の構成の解説

全部で30題、二部構成となっている。

第一部：10題、単語の適切な位置を選ぶ

第二部：20題、適切な文法項目を選ぶ

ii. 文法構成のポイントを述べる

まず、虚詞と実詞の概念を解説する。

(1)第一部の形態

・この部分は全部で10題ある。それぞれが全て不完全なセンテンスで、センテンスの中の異なった位置にA. B. C. Dが配置してある。下に指定する語句が一つあり、センテンスの中で、この語句の最も適当な位置を探し出すように求める。

【例1】我们A一起B去上海C旅游D过。

没有

(2)主なポイントと難しい点

ポイントと難しい点① 介詞と接続詞の位置

規則1：一般的には副詞を名詞或いは名詞句の前においてはならない。

規則2：接続詞によって繋がる二番目の文節で主語がある場合、接続詞は通常、主語の前に置き、主語がない場合は副詞の前に置く。

規則3：介詞は名詞或いは名詞的構造を持つ文の前に置き、“介詞＋名詞＋動詞”或いは“介詞＋名詞＋形容詞”の形をとる。

規則4：“介詞構造＋動詞”で構成されるセンテンスでは、一般的に、副詞は介詞構造の前に置くのが安全な選択である。つまり、副詞—介詞構造—動詞となる。

ポイントと難しい点② 構造助詞“的”、“地”、“得”の位置

	説明	用例
的	名（形、動）＋“的”＋名で定語を構成し、主語と目的語を複雑化する。	学生领到了书。→ 刚来的学生领到了新出版的书。

『統合的な中国語能力の要点』

地	形（名）＋“地”＋動（形）で状況語を形成し、述語を複雑化する。	他说“好”。→ 他慢吞吞地说“好”。
得	動（形）＋“得”＋結果或いは状態を表す単語で補語を構成し、述語を複雑化する。	她哭→ 她哭得说不出话来。

1. 定語を構成する	名（形、動）＋“的”＋名 後の名詞の状況を説明する。	昨天的电影 崭新的自行车
2. “的”の構造	名（形、動）＋“的” 省略された名詞の代わりを務める。	我的（衣服）比他的（衣服）大。 便宜的（手表）都卖完了 他说的（话）不对。
3. センテンスを連語に変える。	名＋“的”＋形 名＋“的”＋動 名＋動＋“的”＋名 このような連語は名詞性構造となるので、センテンスの中において主語或いは目的語の役割を果たす。	经济繁荣→经济的繁荣 他出走 →他的出走 我炒菜。→我炒的菜

	定語の中で“的”がいない場合	定語の中で“的”がいる場合
1	代名詞が定語として、親族関係を表す語彙を修飾する場合。 例：我妈妈、他哥哥	定語が代名詞ではなく、或いは後ろが親族関係を表す語彙ではない場合。 例：小芳的妈妈、他的汽车
2	前は複数代名詞で、後は集団名詞（人或いは会社）の場合。 例：我们老师、他们工厂	前は複数代名詞ではなく、或いは後ろが集団名詞（人或いは会社）ではない場合。 例：他的老师、他们的书
3	一字の形容詞と名詞の間にある場合。 例：新房子、红衣服	一字の形容詞と名詞の間にない場合。 例：很新的房子、大红的衣服
4	品質や性質を説明する場合。 例：木头椅子、中国地图	用途を説明する複雑な定語の後ろにある場合。 例：装衣服的袋子、学英语用的录音机
5	職業を説明する定語の後にある場合。 例：中文老师、网络工程师	
6	助数詞と名詞の間にある場合。 例：一个学生、这种事情	

ポイントと難しい点③ 動態助詞“了”、“着”、“过”の位置

了	基本的文型 1	基本的文型 2
文 型	動 1 + “了” + (目的語) + (就/才/再) + 動 2	動 1 + 目的語 + 動 2 + “了” + 目的語
説 明	独立しているセンテンスではなく、後に 文節がつき従う場合、動作の順序、或いは 仮定条件を表す“就”、“才”、“再”と一 緒に使われることが多い。	連動文と兼語文の中で、“了”は普通、後 ろの動詞の後に使われる。
用 例	例：看了电影就回家。	例：我去图书馆借了两本书。

着	基本的文型 1	基本的文型 2
文 型	動 1 + “着” + (目的語) + 動 2	名(場所) + 動 + “着” + 名
説 明	動 1 はよく、一文字の単語であり、動 1 は 動 2 と手段や方法や目的などの関係があ る。	状態の存続を表す。
用 例	例：冒着大雪上山。	例：门口围着一群人

过	基本的文型 1	基本的文型 2
文 型	(没有) + 動/形 + “过” + (目的語)	動 1 + 目的語 + 動 2 + “过” + 目的語
説 明	完成或いは経験の意味を表す。	連動文と兼語文の中で、“过”は普通、後 ろの動詞の後に使われる。
用 例	例：我和他通过电话。 没有争吵过一次。	例：到中国游览过长城。

ポイントと難しい点④ 離合詞

中国語の中には“帮忙”や“洗澡”といった離合詞が数多く存在する。これらは、“了 1”、“着”、“过”を使うとき、その位置が普通の動詞と異なり、目的語との位置関係も異なる。また、介詞と一緒に使わなければならないなどの特徴がある。

(2)第二部の形態

この部分は全部で20題ある。一つのセンテンスが出題され、その中には一、二箇所の空欄がある。その下に指定された単語があるので、四つの選択肢から最も適当なものを選んで空欄を埋めるものとなっている。

【例1】

我昨天买了一_____钢笔。

A. 件 B. 块 C. 支 D. 条

ポイントと難しい点① 虚詞の使い方

“把(将)”の使い方

基本文型	A 把 B VP 【例4】 妈妈把孩子 骂哭了。 A B VP
文法的意味	AのBに対する処置、或いはもたらす結果を表す。
要点説明	1. Bはすでに指定されたものである 2. VPという動詞構造は次のような二つの内容を含む。一つはAの動作、もう一つはBの受けた影響。 【例4】 “骂哭了”というVPで、“骂”はA“妈妈”の動作であり“哭了”はB“孩子”の受けた影響である。
常用文型	1. A 把 B V (動) 補語 他把牛奶喝完了。 2. A 把 B V得 補語 孩子把房间弄得乱七八糟的。 3. A 把 B V 成 C 他们把公司看成自己的家。 4. A 把 B V 到 C (場所) 老师把地球仪放到桌子上了。

“使(令)”の使い方

基本文型	A 使 B V/Adj (形) 【例5】 他的做法使我 佩服/很满意。 A B V/ Adj
文法的意味	AのためにBという状況が出現することを表す。
要点説明	1. “使”の後ろは大体形容詞がくる。これは他の介詞と違う点である。 2. V/Adjの内容は一つ。Bの受けた影響である。【例5】“佩服”と“很满意”は、どちらもB“我”の受けた影響である。
常用文型	1. A 使 B 很Adj 他的做法使我很满意。 2. A 使 B 感到… 这件事情使人感到很意外。

“给”の使い方

基本文型	<p>A 给 B V 【例6】 <u>家里</u>给<u>小王</u> <u>寄来一个包裹</u>。</p> <p style="text-align: center;">A B V</p> <p>【例7】 <u>我</u>给你 <u>当翻译</u>。</p> <p style="text-align: center;">A B V</p> <p>【例8】 <u>这次地震</u>给<u>这个地区</u> <u>造成了严重的损失</u>。</p> <p style="text-align: center;">A B V</p>
文法的意味	AのしたことがBに利益、或いは損害をもたらす。
要点説明	<p>1. Vは動詞構造である。</p> <p>2. 動作はAから発したものである。</p> <p>3. Bは動詞或いは動詞的構造の受け方であり、受益者或いは被害者でもある。【例6】B“小王”は“寄来一个包裹”の受けてであり、【例7】のB“你”は“当翻译”の受益者であり、【例8】B“这个地区”は“造成了严重的损失”の被害者である。</p>

“被（给）”の使い方

基本文型	<p>A 被 B VP 【例9】 <u>孩子</u>被<u>妈妈</u> <u>骂哭了</u>。</p> <p style="text-align: center;">A B VP</p>
文法的意味	AがBの処置を受けた後、生じた結果を表す。
要点説明	<p>1. VPという動詞構造は次のような二つの内容を含む。一つはBの動作、もう一つはAの受けた影響である。【例9】“骂哭了”という動詞の中で、“骂”はB“妈妈”の動作であり、“哭了”はA“孩子”の受けた影響である。</p> <p>2. 構造の情報のポイントはVPであり、Bは省略出来る。 【例9】は“孩子被骂哭了。”ともいえる。</p> <p>3. この構造はいつも消極的な意味を含んでいる。</p>
常用文型	<p>1. A 被（B） V 補語 牛奶被他喝完了。</p> <p>2. A 被（B） V得 補語 房间被孩子弄得乱七八糟的。</p>

“由”の使い方

基本文型	<p>A 由 B V 【例10】 <u>运输问题</u>由<u>他们</u> <u>解决</u>。</p> <p style="text-align: center;">A B V</p>
文法的意味	事象AはBに担当してもらう。

要点説明	1. Aは任務或いは仕事のことが多い。 2. V は一つの動詞であることが多い。時々“来”と一緒に使われる。 3. 動作VはBの動作である。【例10】“运输问题”の任務はB“他们”が“解决”する。	
常用文型	1. A 由 B (来) V 经济由太太来管理。 2. 由 B (来) V A 由太太来管理经济。	

ポイントと難しい点② 実詞の使い方

方位と趨勢を理解する最も重要な用法

	語意	用例
上	1. ……の面において	在文化上
	2. 範囲を表す	书上、报上、世界上、大会上、课堂上
中	1. 時間を表す	假期中
	2. 状態を表す	昏迷中、欢乐中
	3. 過程を表す	讨论中发现了一些新问题。
下	条件を表す	在这样的情况下、在他的帮助下

II. 学生の状況

今日は授業の2日目、予想よりも学生の中国語の水準が低いため、新しい方法で行うことにした。いずれの文法も解説の前に、学生に最も重要な単語、語彙を提示し、学生に読ませた。授業の中では出来るだけ、語彙をその範囲内でとどめるようにし、学生が中国語の解説を聞き取れるようにし、学生に自信が持てるよう工夫した。

そのほか、文法の解説は簡単に明解にし、かつ、どの文法も学生とともに文を作る練習をし、学生が収穫を感じ取れるようにした。

今日の授業では学生はほぼ、昨日の授業より分かりやすいと感じたようだ。私は教室の空気に注意していると、時に話に反応して笑ったりしていたので、学生が聞き取れていることが分かった。

< 2月22日 >

I. 講義内容

i. 文法の構成の解説（昨日の続き）

①複文

	文型	説明	用例
逆説	1. 尽管/虽然/虽说/固然 A…但是/可是/然而/不过/还是/却 B 2. V/Adj是V/Adj…可是…	逆説を表す。Aは普通、すでに現れた事実である。副詞と接続詞の位置の相違に気をつける。（第一課参照）	这孩子虽然年纪不大，可是懂的东西却不少。 这个办法好是好，可是不可行。
讓歩	就是/即使/哪怕/纵然 A…也/还是 B	讓歩を表す。Aは普通、まだ現れていない仮定。	即使明天下雨，足球赛也要照常进行。
因果	1. 因为/由于…所以/因此/因而/于是	原因と結果を表す。	因为下雨，所以足球赛取消了。
	2. 既然…就…	すでに起こった事実や結論を表す。	既然车票难买，就坐飞机去吧。
目的	1. 为了A…， B…	Aは目的、Bは行動。	为了提高工作效率，他们改革了人事制度。
	2. B…， 以便A…	Bは行動、Aは目的。	出发前大家详细阅读了相关材料，以便尽快熟悉当地的情况。
	3. B…， 以免/免得/省得A…	Bは行動， Aは現れてほしくない結果。	你要再三叮嘱一下，以免出现问题。
条件	1. 只要A…， 就B…	充分的条件文。AさえあればBがある。	只要有酒，他就开心了。
	2. 只有A…， 才B…	必要的条件文。必ずAがあって、Bがある。	只有亲眼看见，我才会相信。
	3. 凡是…都…	例外がないことを表す。	凡是一年级的新生都要住校。
	4. 不管/无论/不论A…， 都/也 B…	例外がないことを表す。Aは普通、“吗”のない文となる。	不管同意不同意，都要给我们来个电话。

仮 説	要是/如果/假如/倘若/若 A…，就/则B…	仮説を表す。Aは普通、ま だ現れていない事実。	如果明天下雨，我们就不去长 城了。
	要不是/幸亏A…，否则/ 不然B…	仮説を表す。Bは普通、ま だ現れていない事実。	幸亏带了雨伞，不然就淋湿 了。

②比較

ii. 読解

読解部分の構成

読解の部分は全部で、50題から構成されている。受験生は60分以内に解かなくてはならない。

第一部：語彙

第二部：短文の読解

(1)第一部の構成

語彙部分では全部で20題出題される。形式としては、いずれも正確なセンテンスがあり、その中で下線を引いてある箇所がある。下には四つの選択肢があり、その中の一つだけ、問題部分と一致する答えがある。それを選択する。

【例1】

孙子进不了幼儿园，我就自己教他。我自信，这点本事是有的。

A. 志气 B. 感情 C. 觉悟 D. 能力 正解は[D]

ポイントと難しい点① 多義語、同義語

【例2】

当初我的意见，你就是不听，这下出问题了！

A. 反映 B. 接受 C. 打听 D. 理解

【例3】

这几年，他们家买了冰箱，添了彩电，日子过得挺美。

A. 阔 B. 方便 C. 满意 D. 美丽

ポイントと難しい点② 慣用句 文字面からそのまま解釈しないこと。

【例4】

这件事你自己想办法吧，我跟他说不上话。

A. 不能说话 B. 语言不通 C. 关系不好 D. 说话不方便

【例5】

你到我们家也不是外人，千万别客气。

- A. 外国人 B. 外地人 C. 没有亲友关系的人 D. 邻居

【例6】

你好好休养吧，回头我再来看你。

- A. 扭头 B. 以后 C. 回去 D. 明天

【例7】

她恨不得马上就见到他。

- A. 后悔 B. 不愿意 C. 很希望 D. 非常恨

【例8】

图书市场上音像产品开始走红。

- A. 变成红色 B. 受欢迎 C. 价格高 D. 增多

【例9】

儿子的身体成了这个样子，简直就成了他的一个心病。

- A. 心脏病 B. 心疼 C. 心事 D. 心情

【例10】

我们一直以为你去跳舞了呢，闹了半天，你在宿舍看电视呢。

- A. 玩了半天 B. 热闹了很长时间 C. 原来 D. 看来

不像话、开夜车、碰钉子、伤脑筋、走后门、不怎么样 等

II. 学生の状態

今日は授業の3日目。文法を解説した後、どの文法についても学生と一緒に文を作る練習をし、合わせて学生に読ませ、授業中の単語は出来るだけ少なくし、学生が中国語の説明を分かるような工夫した。学生は大きく自信をつけたものと思う。

読解部分は第一の部分まで講義し終えた。同時に学生が慣用句を把握出来るように努めた。

学生は概ね、昨日よりもよく聞き取っていた。午後、オフィスアワーの時には、「とてもおもしろい、大きな収穫があった」と言っていた。

< 2月23日 >

I. 講義内容

i. 読解の第二部

(1)第二部のタイプ

【例1】天安门不仅是中华民族的象征，而且是世界著名的古建筑。它的设计者是明代著名的建筑师蒯祥。蒯祥出生于江苏吴县的鱼帆村。1421年，年仅二十一岁的蒯祥设计并建筑了一座木构牌楼，这就是最早的天安门，原名承天门。1457年7月，承天门被大火烧毁。八年后，明英宗命令白圭主持重建。白圭请蒯祥出谋划策，建成了现在的样子。明朝末年，承天门又被烧毁。1651年重建，并改为天安门。

[123]这段话主要介绍了哪方面的情况？

- A 天安门为什么改名
- B 天安门的地理位置
- C 天安门的设计者是谁
- D 天安门是哪个朝代修建的

(2)<主なポイントと難しい点>

- ・ 主な意味を捉える
- ・ 細かい点を捉える
- ・ 態度と心情
- ・ 推理と判断

【例2】无论如何，名人总是名人，名人的形象、名誉总是比平常百姓的值钱，因而也更需要保护。但是，既是名人，就不能拒绝社会公众舆论的监督，也没有拒绝公众舆论批评的权利。因为，名人的公众舆论形象并不完全属于他们自己的，他们是社会财富的一部分。至少，就像名人拥有捍卫自己名誉不受侵犯的权利一样，公众则拥有对这种权利品头论足的权利。这种权利也是应当予以尊重并加以保护的。

[101]本文特别强调了下列哪种权利？

- A 百姓名誉不受侵犯的权利
- B 公众评论批评名人的权利
- C 名人使用自己财富的权利
- D 名人保护自己名誉的权利

[102]作者认为，名人不接受舆论批评：

- A 没有道理的
- B 公众也应理解
- C 只是个别现象
- D 百姓也没办法

【例3】穿着打扮本是个人的爱好，他人无权干涉，但是，曾经住过医院的人一定会有这样的感受，当一名不讲究仪表、仪容，穿戴又极其随便的护士走近你的身边时，你的感觉不会太好，甚至有可能对她的护理水平、工作态度产生怀疑。而当病人一旦对护理人员产生了不信任感，往往会出现抵触情绪，影响病人与护理人员的合作，更不利于病人的治疗和康复。反之，一个注重仪表、仪容和穿戴得体的护士，肯定会受到病人的尊敬，病人也容易对这样的医护人员产生信任感。可以这样说，护理人员注意个人外表修饰，有利于同病人的沟通。

按照上文，医护人员的穿着：

- A. 别人管不着
- B. 决定护理水平
- C. 是个人自由
- D. 影响医疗效果

ii. 総合穴埋め

(1)総合穴埋め部分の構成

総合穴埋めはHSKの四つ目の項目である。問題は全部で40題、試験時間は30分である。総合穴埋めは二つの部分にわかれており、第一部は単語の空欄穴埋め（24題）であり、第二部は漢字の空欄穴埋め（16題）で構成されている。

(2)第一部の形態

第一部は全部で24題あり、単語の空欄穴埋めである。一般的に用途の異なる総合的な文章が五、六段あり、その中には比較的完全な短文もあり、短い段落もあり、短い会話もある。文章の中に空欄があり、その中に問題番号が書かれている。空欄の右側に四つの選択肢が書かれており、受験生に文章の内容によって、あてはまる選択肢を選ぶ。（答案用紙にアルファベットを書く。）

【例1】145-149

我和小张是中学同学，在145长的一段时间里，我们同吃同住同学习，146很深。有一天，我起147特别早，早晨又没吃早饭，上课时148很不舒服，小张马上要了一辆出租汽车，149我送回了家。

- 145 A相对 B相当 C相互 D相反
- 146 A感冒 B感觉 C感想 D感情
- 147 A地 B的 C得 D了
- 148 A感到 B知道 C认为 D发觉
- 149 A叫 B被 C把 D使

正确答案：145[B] 146[D] 147[C] 148[A] 149[C]

(3)＜試験のポイントと難しい点①＞

- ・文章全体の意味から語彙を選択する

【例2】据悉，现在中小學生最热衷的三件事是：听歌、旅游、看广告。另一项调查152表明，在中国城市153中，大约有80%的小孩最喜欢看的电视节目是广告。由此探讨一下电视154中男女人物的角色形象则是一件很有意义的事。因为心理学家认为这些形象对少年儿童形成男人、女人角色概念会起到重要作用。

<試験のポイントと難しい点②>

・叙述的な短文の場合の語彙選択

【例3】我们穿过树林，走到那个小木屋前面，我敲了敲门，只听里面传来一个老头儿的声音：“门没锁，11吧！”弟弟在我后面说：“你先12，我跟着你。”

11. A 出来 B 出去 C 进来 D 进去

12. A 出来 B 出去 C 进来 D 进去

<試験のポイントと難しい点③>

・接続詞を正確に選択する

【例4】他女儿今年三岁，每次他领女儿逛商店，女儿总是哭着闹着不愿进。他很奇怪，商店里的商品琳琅满目，小孩子为什么不爱去呢？150，他发现了其中的奥秘。一天，他领着孩子在商店的人群中挤来挤去，女儿的鞋带开了。他151来给孩子系鞋带。系好鞋带他一抬头，发现柜台比孩子要高得多，女儿根本就看不到琳琅满目的商品……

150. A 因为 B 究竟 C 然后 D 终于

151. A 站起 B 蹲下 C 坐起 D 放下

<試験のポイントと難しい点④>

・類義語

【例5】学校145，学生在校期间要选够40个学分。

145. A 规则 B 规定 C 规律 D 规矩

【例6】本室所有报刊只准在145阅读

145. A 桌子 B 屋里 C 室内 D 室外

(4)<主な試験対策>

- ・大きいところから小さいものを想像する。全文→センテンス→語彙
- ・文全体の関係をはっきりさせる。
- ・推測する→チェックする。排除法を用いていくつかの角度から類義語を区別する。

(5)第二部の形態

第二部は16題で、漢字の穴埋めである。普通は四つか五つの段落の文章が用意され、文章の中にいくつかの空欄がある(空欄の中には題目と番号が表示されている)。受験生は文章の意味に基づいて答案用紙に、空欄にあてはまる漢字を書く(注意：一つの空欄の中には一文

字しか入らない)。

【例1】他是一位编辑，每天坚持读书、写作。早上六点钟便坐在书桌前开157工作了。最158一个时期，他正在写一些回忆文章。

正解：157[始] 158[近]

<試験のポイントと難しい点①>

どの単語なのかを確定する。

【例2】1992年元164按照规定元月一日放假一天，为165于安排工作，1991年12月29日（星期日）不休166，元月二日（星期四）补休一天，元月三日（星期五）照常上班。企业单位可根据167自的条件自行安排。

正解：164[旦] 165[便] 166[息] 167[各]

<試験のポイントと難しい点②>

文体（一）書簡と書き置き

【例3】

玛丽：

收到你的来信，我很高159。现在我学习很忙，没有给你及时回信，请原谅。

你近来身体如何？学习紧160吗？多来信。

此致

敬礼

安娜

2月1日

正解：159[兴] 160[张]

【例4】

百花电视制作中心：

李平同学二〇〇〇年七月毕业于本校中文系文学专业。该生在校学习期间各科成161优良，曾发表过十余篇文学作品，还从英文翻162过一部电影文学剧本。本人是中文系文学专业的教授，指导过该生的毕业论文，他的论文质量较高，已163过答辩。该生有一定的研究能力和写作能力，知164面比较宽，有钻研精神。近闻贵中心想请他参加系列片的编写工作，本人深信他可以胜任。

特此推荐。

顺颂

近安

联合大学中文系教授 郭诚

二〇〇〇年八月七日

正解：161[绩] 162[译] 163[通] 164[识]

【例5】

王刚：

下午来找你，真不巧，你不在家。我想明天中午十一点半再来登门165访。如你没空儿，请于明天上午九点前打电话告166我。我的电话号码是：64821937。

田志

正解：165[拜] 166[诉]

【例6】

某公司诚聘业务咨询员，条件如下：

大专以上文161程度或两年以上工作162验，有房地产、有深圳户口者优先。

有意者请于本月20、21日携有效证件及相163到晶都酒店6楼多功能会议室面试。

正解：161[化] 162[经] 163[片]

【例7】

征婚

女，38岁，身高1.63米，在本市某事业单位做财务工作。品貌兼优，168格开朗，爱好文艺，重感情，离异。有一11岁的男孩。觅48岁以下，又爱孩子的男士，有愿者请信寄北京1611信169杨志清收转。有信必复，邮170编码：100101。

正解：168[性] 169[箱] 170[政]

【例8】

通知

按照校历，学校将于明年1月13日开始放寒165。凡本学期结束时应离校的留学生，如下学期愿继166学习汉语或入系学习专业，请于11月13日至17日到留学生办公室领取延长167请表，并于11月23日前将填好的表交回留学生办公室，过期将不予办168。我们将于12月下旬公布同意延长的留学生名单。

留学生办公室

正解：165[假] 166[续] 167[申] 168[理]

(6)＜主な対策＞

- ・空欄の前後は必ず見る。
- ・推測一類義語を見つける
- ・問題を解く順序は大きいものから小さいものへ：文章全体→センテンス→語彙
- ・標準漢字を書く
- ・よく見る応用文書を熟知し、常用単語を覚える。

- ・背景となる知識を多く理解する

(7)＜試験のポイントと難しい点＞

- ・どんな単語か確かめる。
- ・漢字を書く
- ・書簡と書置きの文体
- ・公示、掲示の文体

Ⅱ. 学生の状況

今日は授業の4日目。今日、最初は昨日の内容の復習から始めた。その後、総合穴埋めの部分を分析した。学生は漢字の部分に非常に興味を持っていた。

多くの学生は昨日よりもさらに聞き取っているようだった。午後、三人の学生がオフィスアワーに来たが、中国語に対してより興味を持ち、中国へ留学も考えているようだった。

＜2月24日＞

授業状況：模擬試験

学生の状況

今日は8名の学生が模擬試験に参加した。1名が3級の水準に達し、3名の学生が3級に近い水準で、その他の学生は1級か2級ぐらいの水準であった。

試験の状況をみると、学生の各部分の水準は明らかにバランスがとれていない。ヒアリングの部分は成績が悪く、読解が往々にして強い。しかし、予想通りではある。

今日は授業の最後の日であった。今回の講座では、時間が短かったが、学生は基本的にHSKに対し比較的しっかり理解しており、同時に自分の中国語の水準についてもはっきりと認識している。学生の中国と中国語に対する興味を引き出し、今後どのような方向に努力すればよいかを啓発することは出来たと思う。予定した目標には到達したといえるであろう。

(趙延風)

4. 2. 2 中級クラス

＜2月20日＞

I. 講義内容

i. HSKの紹介

HSKは漢語水平考試のピンイン“Hanyu Shuiping Kaoshi”の頭文字をとったものである。HSKは母語が中国語ではない人の水準をはかるために設立された国家レベルで標準化された

試験である。

HSKは3つのそれぞれ独立した試験により構成される。

- ・基礎漢語水平考試、略記すればHSK（基礎）。
- ・初、中等級漢語水平考試、略記すればHSK（初、中等）。
- ・高等漢語水平考試、略記すればHSK（高等）。

今回のHSK受験対策講座で取り上げるのはHSK（初、中等）。

HSK（初、中等）は四つの項目で構成されている。

内容	出題数	回答時間
ヒアリング（ヒアリング）	50題	約35分
文法	30題	20分
読解	50題	60分
総合穴埋め	40題	30分
合計	170題	145分

ii. ヒアリングの対策の解説

ヒアリングはHSKの一つ目の項目であり、全部で50題出題される。時間はおおよそ35分。ヒアリングは三部で構成されており、第一部はセンテンス、15題。第二部は簡単な対話、20題。第三部は会話或いはスピーチ、15題。一つの部分を一時間として、ヒアリングを三時間で構成した。

第1課

(1)＜6つのポイントと難しい点の解説＞

- ①一つの出来事の過程を要約、叙述について
- ②人々、或いは事柄の相互関係について
- ③数字と計算について
- ④語句に関連することについて
- ⑤決まったフレーズと慣用句について
- ⑥語気（ニュアンス）と態度（話し振り）について

(2)＜受験生の試験の際に容易に陥りやすい間違えについての分析＞

選択肢を有効に利用して問題文と出題内容を予測していない。数を記録したり、メモを取ったりすべき時にとっていない。聞き終わってからでは遅いのである。ある単語を聞き取ったら、すぐにその語を選択する。或いは聞き取った小さなことから簡単に判断・推理をする。

(3)＜問題に応じた対策を分析＞

聞く前に素早く選択肢を読み、テープの内容と問題を予測し、目的意識を持って、内容を聞く。その時々により記録をとり、冷静に推理、判断し、不必要な項目を削除する。

第二課

(4)＜6つのポイントと難しい点の解説＞

- ①場所と方向
- ②職業、身分と人物の関係
- ③計画と行動
- ④推理と判断
- ⑤反語
- ⑥否定形の質問

(5)＜受験生の主な誤りの分析＞

場所、職業、人物関係について、カギとなる語を見極めるポイントを捉えていない。全体の対話の内容を理解せず、安易に個別の単語に目を付けて答えを選ぶ。疑問文かそれとも反語句なのかを判断することができず、反語句の意味を捉えられない。否定形の質問の試験問題に対しての反応が鈍く、必要に応じた記録がとれていない。

(6)＜問題に応じた対策を分析＞

- ①選択肢から問題を予測する。
- ②一般的に、二人の話を聞き取って初めて正確な選択が出来る。
- ③反語や間接的な質問に注意する。場合によっては対話の進行に伴って推理、判断する。
- ④否定形の質問に注意する。もし、四つの選択肢が比較的短く、語の意味が似ており、意味が同じ種類に属する場合、問題がもしかしたら“下のどの点について文中では述べられなかったでしょう。”というものかもしれないことを考え、記録の準備をしておく。

第3課

(7)＜二つのポイントと難しい点の解説＞

- ①長い対話
- ②ニュース

(8)＜受験生の主な誤りを分析する＞

- ①時間や選択肢による情報を有効に活用出来ないままで、対話或いはスピーチのタイプや主題、問題を予測する。
- ②全ての語を理解しようとしてしまい、関係のない部分を排除して要点を選択する能力が欠けている。

＜問題に応じた策略を分析＞

- ①この部分の試験問題の文章は比較的長いので、問題を予測することが重要である。この部分の説明と、問題文が始まる前にある時間で、出来る限り早く選択肢を読み、問題を予測する。
- ②「36～38の問題は下の問題文に基づいて」という部分を聞きいているとき、この短い文の中にいくつ問題があるのか、その順番、かつ、この文章のタイプ（対話か、報道か、など）、主題（気候か、学校紹介か、など）を素早く予測する。
- ③問題文を聞くときは予測したことをふまえて、要点をつかむ。この部分の要点は一般的に
- ①文中の基本事実。時間、場所、数字、人名、原因などの細かい内容を含む。②人物の観点と態度（話し振り）。③文章の大意と中心となる考え方。である。
- ④もし選択肢の中に時間、場所、数字、人名、原因などの細かい内容を含むなら、関連する情報を注意して捉え、聞きながら声調、ピンインなどの要点を速記する。回答するとき使用出来る一方で、段落ごとの要点整理にも役立つ。
- ⑤文章を聞くとき、はじめの部分と最後の部分に注意して聞かなければならない。初めの部分は大体、その文章の主題であることが多く、最後の部分は結論、全文の意義、事象の影響、或いは結果であることが多い。
- ⑥この部分は主に、受験生が「関係ない部分は排除し、その中の重要な情報或いはいくつかの細かな事象をつかむ」ことが出来るかどうかを見ており、出題者は故意にハードルとなる単語を置いている。問題と関係ないものもあるので、難しい単語・文章を聞いたとき、あわててはいけない。

Ⅱ. 学生の状況

9人の学生は非常にまじめに授業に取り組んでいる。三年生もいれば、一年生もいる。中国語の水準は高い学生もいれば、低い学生もいるが、みな、一定のレベルには達している。基本的には私の話す主な内容は理解している。ヒアリングのテープを聴いているとき、ある語彙は、(特に慣用句など) まだ熟知しておらず、テープの速度は少し速いようで、多少の困難を感じている者も居るようだが、解説を聞き、基本的には理解した。

時間が限られているので、1時間目の部分のみ授業中に練習したが、その他の部分は、授業を終えた後、練習問題と復習問題をテープと共に学生に配布し、自習出来るようにした。

＜2月21日＞

I. 講義内容

i. 文法の部分の試験対策の解説

文法の部分はHSKの二番目の項目で、受験生の文法構造の把握の程度をはかるもので、全部で30題ある。ここは以下の二つの部分で構成される。第一部は10題あり、出題された単語を置く適切な場所を選択する。第二部は20題あり、文法に合う選択肢を一つ選ぶものである。

る。試験時間は全部で20分。

(1)＜“文法”部分のポイント＞

- ①よく使われる数量詞、方位詞、動態助詞、副詞、介詞、助詞、接続詞などの使い方。
- ②動詞、名詞、形容詞のパターン。
- ③主な補語、状況語、定語の使い方。
- ④語順
- ⑤比較の方法
- ⑥出題の方法
- ⑦よく使われる連語と慣用句
- ⑧よく使われる複文

第1課

四つのポイントと難しい点を解説した。学生が間違えやすい点を分析し、試験の対策と技術について具体的に説明した。

(2)＜ポイントと難しい点＞

＜ポイントと難しい点①＞

副詞、介詞、接続詞の位置

＜学生が間違えやすい点＞

一つの語彙の性質を知らない。大体の意味を知っているが、使い方を理解していない。相対的な位置が的確に捉えられていない。

＜試験の対策と技術＞

四つの規則をしっかりと覚え、1つの事から多くのことを推測する。

＜ポイントと難しい点②＞

構造助詞“的”、“地”、“得”の位置。

＜間違えやすい点＞

3つの語彙の使い方の違いに注意していない。センテンスを分析せずに選択する。定語の中で“的”の必要ない場合がわかっていない。

＜対策と技術＞

その違いを理解し、問題が出されたときはセンテンスを分析する。重要なことは“的”の用法を理解することである。特に定語の中で不必要な“的”には注意する。

＜ポイントと難しい点③＞

動態助詞“了”、“着”、“过”の位置。

<間違いやすい点>

二つ以上の動詞があるセンテンスで、どの動詞に付き従うべきかわからない。

<対策と技術>

“了”、“着”、“过”の常用文型を覚える。動詞が離合詞の場合に注意する。

<ポイントと難しい点④>

“一点儿”、“有点儿”、“多”などの特殊な語の位置。

<間違いやすい点>

用法を表にまとめて記憶する。典型的な例文を暗記する。

第二課

二つのポイントと難しい点について解説した。学生が間違いやすい点を分析し、試験の対策と技術について具体的に説明した。

<ポイントと難しい点①>

虚詞の使い方

<間違いやすい点>

普段学習しているときに正確にこれらの単語を捉えていない。虚詞の文法意義を理解しておらず、大体の意味を知ってはいるが、使い方を理解していない。書き言葉と話し言葉では表現が違うことを理解していない。

<対策と技術>

“把”、“使”、“被”、“由”の使い方を学習し、これらの重要な虚詞の基本文型、文法的意味、使い方の要点を性格に理解し、場合によっては常用文型も覚えるべきである。用法が基本的に同じ語は暗記する。基本文型をしっかりと学ぶと同時に、混同しそうな文型をグループ分けして比較する。

<ポイントと難しい点②>

実詞の使い方

<間違いやすい点>

方位詞と方向動詞が具体的に方位と方向を表すことしか知らず、派生した抽象的な使い方を知らない。更に、常用連語や慣用句に接したことがなかったり、はっきり覚えていないと、試験の時に手のつけようがない。

<対策と技術>

方位詞と方向動詞の重要な使い方を理解する。例文を覚える。

II. 学生の状況

学生はとても熱心に学習している。文法は内容が豊富かつ複雑で、いくつかの文法用語を

使うことは避けられなかったが、学生は困難を恐れず、よく学び、授業の内容は基本的に聞き取っていた。

文法の部分は内容量が多すぎる。今日は“文法”部分の一課と二課が基本的に終了した。明日は第三課と、その後、読解を解説する。文法部分の練習問題、復習問題は学生に配布した。家で復習してほしい。

< 2月22日 >

I. 講義内容

i. 文法の試験対策

昨日に引き続いて解説する。

第二課

3つのポイントと難しい点を解説した。学生が間違いやすい点を分析し、試験の対策と技術について具体的に説明した。

<ポイントと難しい点③>

重畳形式（動詞、形容詞、名詞、代名詞）

<間違いやすい点>

動詞、形容詞、名詞、代名詞の重畳規則を混同してしまう。

<対策と技術>

動詞、形容詞、名詞、代名詞の重畳規則を理解する。重畳形式に関わる細部情報に留意する。

第三課

<ポイントと難しい点④>

複文

<間違いやすい点>

正しく文と文の関係を理解することができない。漢字だけを見て推測したり、同じ漢字を含む接続詞と混同したりする。同様の、或いは似ている文型を理解していない。

<対策と技術>

中国語の複文類型を総合的に把握する。似ている構造の相違を比較する。複文の中の接続詞の使い方に注意する。

<ポイントと難しい点⑤>

語順問題

＜間違えやすい点＞

複雑なセンテンスの中での各部分の順序を把握できず、多項定語のあるセンテンスや特殊な文型を正確に把握できない。

＜対策と技術＞

典型的な用例によって、多項定語、状況語、補語の規則を覚える。特殊な文型を把握する。

＜ポイントと難しい点⑥＞

比較

＜間違えやすい点＞

いくつかの比較の形式を混同して覚えている。

＜対策と技術＞

主な用法を知り、重要な文型を覚え、文型の語意を把握する。

ii. “読解”の試験対策の解説

読解の部分は全部で50題で構成されており、受験生は60分以内に解かなくてはならない。この部分もやはり、二部にわたり構成されている。第一部が語彙（20題）、第二部が短文の読解（30題）である。読解の部分は三課にわけて解説し、第1課は語彙の部分を、第二課と第三課で短文の読解を説明する。

第1課

3つのポイントと難しい点を解説した。学生が間違えやすい点を分析し、試験の対策と技術について具体的に説明した。

(1)＜ポイントと難しい点＞

①多義語、同義語

②慣用表現

③文脈による意味

＜間違えやすい点＞

①同義語間の、或いは多義語の意味の区別がつかない。

②漢字を見て意味を判断する。

＜対策と技術＞

①多義語と同義語と慣用表現を覚える。

②文脈を利用する。

第二課

二つのポイントと難しい点を解説した。

(2)＜ポイントと難しい点＞

①重要な意味を捉える。

②細かい点を捉える。

<間違いやすい点>

- ① キーポイントをつかめない。
- ② 情報を結び付けることができず、文章の要点を捉えられない。

<対策と技術>

- ① 大筋とキーポイントを捉える。
- ② 問題文を、文章を読み解くカギとする。
- ③ 否定形の問題に注意する。

第3課

二つのポイントと難しい点を解説した。

(1)<ポイントと難しい点>

- ① 文章の態度（話し振り）と心情を体感する。
- ② 推理と判段する。

<間違いやすい点>

- ① 文章の中の語気（ニュアンス）、語句の傾向性を読み取れない。
- ② 作者の立場に立って心情を体感することができない。
- ③ 文章のカギとなる部分とロジックがはっきり理解できず、正しい帰納と論証を行うことができない。

<対策と技術>

- ① 文章の中の傾向性のある語彙と作者の着眼点に注意する。
- ② 文の中のロジック関係を整理する。

II. 学生の状況

学生はとてもまじめに学習している。文法は内容が複雑である。例題と体系的な説明を通じ、中国語の中の重要な文法概念をよりよく理解したようだ。文法と比べて学生の読解能力は極めて高い。そのため、読解の部分の単語と短文の読解のところは授業が早く進んだ。授業中は多くの単語、文法問題を提示したが、学生は積極的に参加し、よく内容を捉えていた。

今日は計画していたことを全て学習し終えた。明日は初めに読解の短文を見て、読解の部分の復習をし、その後、「総合穴埋め」を学習する。読解と総合穴埋めの練習問題はすでに、学生に配布した。家で学習してもらいたい。

<2月23日>

I. 講義内容

i. 読解部分の推理と判断についての復習

ii. 総合穴埋めについての解説

総合穴埋めはHSKの四つ目の項目である。問題は全部で40題、試験時間は30分である。総合穴埋めは二つの部分にわかれており、第一部は単語の空欄穴埋め（24題）で、第二部は漢字の空欄穴埋め（16題）で構成されている。

第1課

(1)＜五つのポイントと難しい点＞

- ①文章全体の意味から語彙を選択する
- ②叙述的な短文の場合の語彙選択
- ③接続詞を正確に選択する
- ④類義語を分析する
- ⑤表面的に似ている単語を分析する

(2)＜学生の間違いやすい点进行分析する＞

- ・文章全体を読まずに選び、読んで通じればよいと思っている。
- ・センテンスだけを見て前文の関係を見ようとしない。
- ・新しい単語を覚えるとき、大体の意味だけを見て、語義・組み合わせ・文体などから他の類義語と区別することをしない。

(3)＜主な試験対策＞

- ・大きいところから小さいものを考える。全文→センテンス→語彙
- ・文章全体の関係を理解する。
- ・推測しチェックする。
- ・排除法を用いていくつかの角度から類義語を区別する。

第二課

(4)＜四つのポイントと難しい点＞

- ①どんな単語か確かめる
- ②漢字を書く
- ③書簡と書置きの文体
- ④公示と掲示の文体

(5)＜学生の間違いやすい点进行分析する＞

- ①空欄がどこにあるのか良く見ていない。センテンスの中の文法構造と意味を細かく研究していない。文章全体を見ていない。
- ②漢字が当て字や日本語の漢字を書いてしまう。
- ③よく見られる応用文体の特徴がわからず、書き言葉や長い文章に驚いてしまう。

④関連する文化的背景を理解していない。

(6)＜主な試験対策＞

①空欄の前後を良く見る。

②推測一類義語を探す。

③問題に答える順番は大きいところから小さいところへと：文章全体→センテンス→単語→漢字

④標準漢字を書く

⑤よく見られる応用文書の文型を熟知し、常用単語を覚える。

⑥多くの背景知識を得る。

II. 学生の状況

学生はとてもまじめに学習しており、積極的に授業に参加している。学生のヒアリング能力は明らかに上がり、基本的に先生の教授するペースについてきて、積極的に問題を解き、自ら質問をし、教室の雰囲気はとても良好である。空欄穴埋めと漢字の穴埋めの例題を分析することを通して学生は基本的にこの部分の質問の意図と、回答方法を理解したようである。回答状況から見ると、この部分の学生の把握状況はすばらしい。

今日までで授業計画は全て終了し、試験対策も全て解説した。授業終了後、総合穴埋めの部分の宿題を出し、自分で復習するようにした。明日は模擬試験を実施する。

＜2月24日＞

I. 講義内容

HSK模擬試験を行った。

II. 学生の状況

模擬試験は基本的には正式な試験のプロセスに従って進行する。試験は午前9時05分に開始し、午前11時36分に終了した。(途中休憩時間はない) 試験の準備は十分であり、学生はとてもまじめに試験を受け、全ての試験が順調に行われた。

終了後、教師はただちに添削をして成績を計算し、成績表をつけた。

4. 2. 3 模擬試験の分析と相対的な分析

i. 4日間の学習を経て、全ての学生はHSKの試験内容と形式について理解し、回答方法を把握した。これは全ての学生の回答方法が基本的に正確なこと、学生がどのように問題解けばよいか、或いは何をやる問題なのか、といった問題が発生しなかったことに、全ての回答が有効であったこと、に表れている。

ii. 模擬試験の成績から見ると、大多数の学生の成績は基本的にHSKの3級の証書を受け取れる水準にある。なかでも幾人かは総合的には5級のレベルに達していた。多くの学生は

四つの項目のうち、すくなくとも一つが5級のレベルに達していた。大多数がはじめてHSKを受験したため、練習問題を学習したのがとても短く、このような成績をとるのも容易ではなかったと思われる。

iii、項目別にそれぞれの成績を分析すると分野別に中国語能力に差があることがわかる。顕著なものは、読解の部分が先行し、文法と総合成績の進歩は明らかに中間レベルだが、ヒアリングは悪い。このようなヒアリング力の無さは複数の見地から確認出来る。一つは全ての学生のヒアリングの部分の成績が最も低かったこと、二つ目にヒアリングの成績はその他の部分との点差が大きいことなどである。学生によっては、ヒアリングが足を引っ張ってしまい、総合成績が理想点に達しないなどの状況が見られた。

4. 2. 4 学習に対するアドバイス

1. ヒアリング能力を高める。中国語のテープを多く聞き、中国語の英語やビデオを見る。特に中国人と話をすることが望ましい。
2. 語彙を増やす。
3. HSKを受験希望する場合は、練習問題を多く解く。

(劉超英)

5. 統合的な中国語能力とは

5. 1 模擬試験による考察

模擬試験の結果に基づき、受験者の中から典型的なサンプルを選び出し、学生の中国語能力に関して分析した。その結果、次のような問題点が浮き彫りとなった。

5. 1. 1 初級者に見られる特徴

(表1)に見られる初級学習者の場合、聴力(ヒアリング)の力が最も弱くA、Bともに1級、次いで文法(文法)で2級、とレベルが低いことがよく分かる。しかし、読解(読解)や総合問題では、漢字から意味が読み取れることもあり、初級学習者でもAは4級、Bは6級のスコアを獲得している。

(表1)

サンプル	クラス	聴力		文法		読解		総合		総合点数	
		点数	級	点数	級	点数	級	点数	級	点数	級
A	初級	24	1	36	2	48	4	48	4	155	3級
B	初級	24	1	33	2	70	6	45	3	176	3級

5. 1. 2 中級者に見られる特徴

(表2)の中級学習者のサンプルは、初級学習者に比べると、総合得点が高く、当然全体的に高い級を取得している。しかし、分野別に見ると、ヒアリングが1～2級、文法が3～4級、講読が5～6級、総合問題が4～7級という結果である。つまり、総合得点においては、明らかに初級学習者よりも高い学力を持っているが、ヒアリングに関しては、初級学習者も中級学習者も同様に低いレベルにあることがよく分かる。

更に、以下に見られるように中級学習者に共通して言えることは、各分野のバランスが非常に悪いということである。最も得意とする読解とヒアリングのスコアの差が4級もあるため、こうした分野別の能力の偏りに対して、厳しい判定基準を設けているHSKでは、明らかに不得意な分野が総合評価の足を引っ張る判定システムになっている。そのため、Cのように例え講読で7級を取ったとしても、総合評価は5級に下がってしまうのである。

(表2)

サンプル	クラス	聴力		文法		読解		総合		総合点数	
		点数	級	点数	級	点数	級	点数	級	点数	級
C	中級	34	2	50	4	74	6	80	7	238	5級
D	中級	36	2	43	3	70	6	60	5	212	4級
E	中級	22	1	50	4	62	5	48	4	179	3級

以下は、同じく中級クラスのサンプルであるが、(表3)の(表2)との違いは、1年間の留学経験者であるという点である。

サンプルFは、帰国直後であり、留学中に既に7級を取得していた。帰国直後、この講座に参加し、模擬試験では更に1級上の8級のスコアを取っている。Gは、帰国後既に、2年以上が経過しており、留学中に7級を取得していたが、ヒアリングを除き多少の低下傾向が見られる。相対的に他の学生よりも高スコアであることは明らかだが、特筆すべき(表1)(表2)の学生との大きな違いは、各分野間のバランスの良さである。

(表3)

サンプル	クラス	聴力		文法		読解		総合		総合点数	
		点数	級	点数	級	点数	級	点数	級	点数	級
F	中級	78	7	87	8	86	8	93	8	341	8級
G	中級	74	7	63	5	70	6	75	6	285	6級

5. 1. 3 問題点と課題

これらの初級、中級、留学経験者の三タイプを比較するにより、改めて留学の意味やHSKの作問の意義というものについて、その有効性を実感することが出来る。

また、HSKが求めるところの「統合的な運用能力の必要性」が如何に重視されているのかもよく分かった。

以上のことから、学生の抱える問題と今後の教育における課題が明らかになってきた。

1. ヒアリング力の不足。
2. バランスの悪さ。
3. 語彙力の低さ。
4. ダイレクトメソッドによる教育の経験不足、などである。

(藤田益子)

6. アンケート調査について

今回の講座について、問題解決の参考とするためアンケート調査を行った。(注:現在回収中であるため、すべてのデータが出揃っているわけではなく中間発表である。)

I あなたご自身についてお伺いします

質問1. 性別をお答えください

- | | |
|-------|----|
| (1) 男 | 2人 |
| (2) 女 | 8人 |

質問2. 学年をお答えください

- | | |
|----|----|
| 1年 | 5人 |
| 2年 | 1人 |
| 3年 | 3人 |
| 4年 | 1人 |

質問3. 新潟大学で所属している学部をお答えください

- | | |
|---------|----|
| 法学部 | 4人 |
| 人文学部 | 3人 |
| 教育人間科学部 | 2人 |
| 経済学部 | 1人 |

質問4. 専門の研究分野をお答えください

- | | |
|--------|----|
| 情報文化過程 | 2人 |
| 地域文化過程 | 1人 |
| 書道 | 1人 |
| 物理 | 1人 |
| 経営学 | 1人 |
| 法律 | 1人 |

質問5. 中国語の学習暦をお答えください

- | | |
|-----|----|
| 5ヶ月 | 1人 |
|-----|----|

9 ヶ月	1 人
10 ヶ月	2 人
11 ヶ月	3 人
1 年11 ヶ月	1 人
2 年10 ヶ月	1 人
2 年11 ヶ月	1 人

質問 6. 参加したクラスをお答えください

- (1) 初級 3 人
(2) 中級 7 人

Ⅱ 受講動機についてお伺いします

質問 7. あなたがこの講座に参加した理由をお答えください（複数回答可）

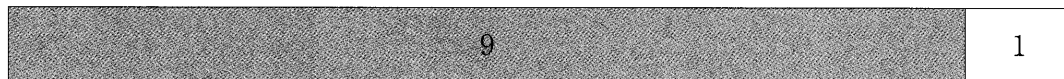
- (1) すぐれた指導を受けることが出来ると考えたから 8 人
(2) ダイレクト・メソッド（中国人教師による直説法）で勉強したかったから 8 人
(3) 講師の所属に魅力を感じたから 1 人
(4) 留学に必要であると考えたから 2 人
(5) 知人に勧められたから（具体的に○をつけてください：教職員・友人・その他） 3 人
→教職員 3 人
(6) 就職に有利であると考えたから 2 人
(7) 自分の学力を試してみたかったから 3 人
(8) その他（自由にお書きください） 1 人
・自分には他国の語学が必要だと思ったから

Ⅲ 受講した感想についてお伺いします

質問 8. 講義或いは環境等について、どのような印象をお持ちですか？（単位：人）

- (1) 講義は面白く、刺激的であった

■強く思った ■少し思った □普通 ■あまり思わなかった ■思わなかった



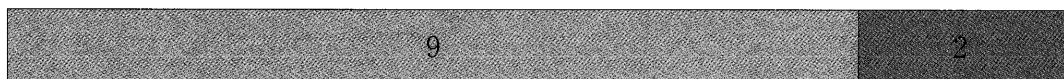
- (2) 開講科目のレベルは合っていた

■強く思った ■少し思った □普通 ■あまり思わなかった ■思わなかった



- (3) 教官は熱心であり、その教育内容は高い水準にあった

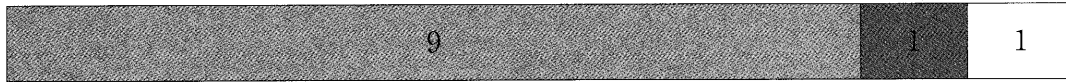
■強く思った ■少し思った □普通 ■あまり思わなかった ■思わなかった



『統合的な中国語能力の要点』

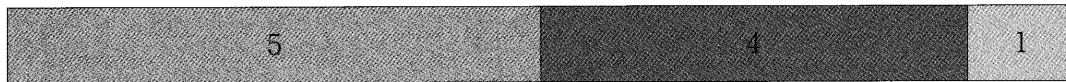
(4) 先生は親しみやすかった

■強く思った ■少し思った □普通 ■あまり思わなかった ■思わなかった



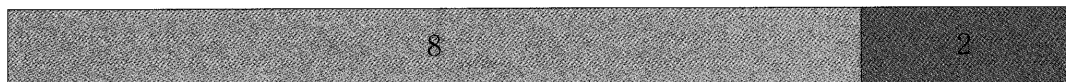
(5) 教室の設備は充実していた

■強く思った ■少し思った □普通 ■あまり思わなかった ■思わなかった



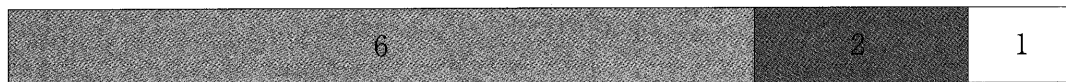
(6) 人数は適切であった

■強く思った ■少し思った □普通 ■あまり思わなかった ■思わなかった



(7) 模擬試験は受けてよかった

■強く思った ■少し思った □普通 ■あまり思わなかった ■思わなかった



(8) 進行速度は適切であった

■はやすぎた ■少しはやかった □適切 ■少しおそかった ■おそすぎた



(9) 開講時期は適切であった

■はやすぎた ■少しはやかった □適切 ■少しおそかった ■おそすぎた



質問9. 開講時期が適切でないと思う方は、希望の時期をお書きください

回答者なし

質問10. 教育に関することで、お気づきになられたことがあればお書きください

- ・ 50分授業10分休憩の時間割りは集中しやすくよかったです。
- ・ 最初は先生の話の速度が速すぎてどうしようかと思ったが、徐々に慣れてきて、聞き取れるところも増え、よかったです。くり返せば慣れていくということがわかりました。
- ・ 授業は全部中国語であっても、知っている単語であればその話すスピードはどうあってもかまわないが、知らない表現があればどんなにゆっくり話してもわからない。「聴力」の問題は語彙力の問題を解決するのが先と思われる。

質問11. 授業内容以外の問題で、お気づきになられたことがあればお書きください

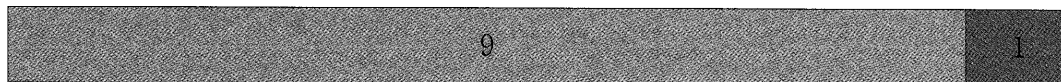
回答者なし

Ⅳ 今回の講座での勉強がプラスになっているかお伺いします

質問12. この講座は、あなたにとってプラスになりましたか？

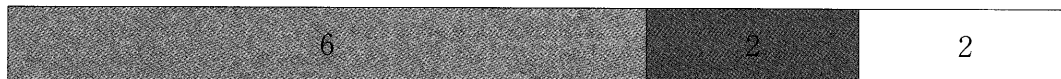
(1) 授業全般に関して

■ プラス ■ どちらかといえばプラス □ わからない ■ どちらかといえばマイナス



(2) ヒアリングに関して

■ プラス ■ どちらかといえばプラス □ わからない ■ どちらかといえばマイナス



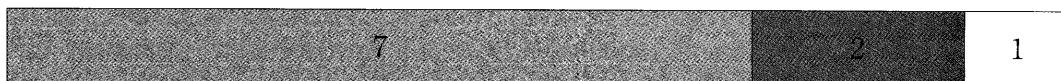
(3) 受験対策に関して

■ プラス ■ どちらかといえばプラス □ わからない ■ どちらかといえばマイナス



(4) 将来的な展望に関して

■ プラス ■ どちらかといえばプラス □ わからない ■ どちらかといえばマイナス



質問13. 「プラスになっている…5」「どちらかといえばプラスになっている…4」と回答された方に伺います

特に役になったものは何ですか？具体的に書いてください

- ・ 直接中国語を聞いて耳に慣れること。緊張感を持てること。
- ・ ヒアリングと文法の知識が特に役に立った。
- ・ 聴力
- ・ 約一時間ずっと中国語づけだったのは初めてだったので、とてもいい授業だった。またネイティブの人の話し方（たとえば「一下」が頻繁に使われていることなど）がよくわかった。ヒアリングはとても難しく役に立ったかよくわからないです……。
- ・ HSKの対策に役立ったと思う。
- ・ HSKの対策ではなく、ただ中国語の語学力を少しでものばしたいという一心で受講したのですが、この講義を機に、HSKを受験してみたいという気になった。
- ・ ほとんど中国語という形式を日本で受けられたのは貴重だった。後練習問題がとても多かった。
- ・ HSK対策は特にしていなかったので、受験対策は全般的に役に立った。

質問14. プラスにならなかった理由はどんな点になるとお考えですか？

- ・ ヒアリングは自分があんまり単語を知らなかったので勉強不足でした。

質問15. 今後このような講座があれば、また参加したいと思いますか？

(1) はい 10人

『統合的な中国語能力の要点』

(2) いいえ 0人

質問16. いいえと答えた方は、その理由をお答えください

該当者なし

質問17. 授業実施形態は、このような「集中講義」と「通常授業」のどちらの方を希望しますか？

(1) 集中講義 7人

(2) 通常授業 3人

V 今後の希望について伺います

質問18. このような留学や語学に関することで新潟大学で行って欲しいことなどがありますか？

(1) HSKやTOEIC対策講座など、語学の準備講座 9人

(2) ネイティブ（中国語話者）による授業 10人

(3) 留学先に関する政治、経済など、幅広い情報を含む準備講座 4人

(4) 留学用のガイダンスや説明会 5人

(5) 留学経験者による講演会 4人

(6) その他。あれば具体的に書いてください 1人

・金銭面の対処

質問19. 今後の留学を希望していますか？

(1) はい 4人（未定 1人）

(2) いいえ 4人（未記入 1人）

質問20. はいと答えた方は、時期と留学期間（予定）をお答えください

・2006年8月～ 1人

・2007年9月～ 1人

(1) 6ヶ月未満 0人

(2) 6ヶ月以上1年未満 2人

(3) 1年以上2年未満 1人

(4) それ以上 0人

VI 今回の講座を振り返って、特にメッセージがあれば、自由にお書きください

また、本アンケート調査に対するご意見、ご感想がありましたらお書きください

- ・中国のネイティブの先生による授業だと、先生の話される100%を全て理解することはできないけれど、推測したり辞書で意味を調べながら授業を聞くのが面白かったです。
- ・分からないポカーンという顔をしていたのに、先生の熱心さと優しさに非常に感心した。かつ感謝です。
- ・これから更に勉強していかなければならないということを実感しました。本講座は毎日有意義なものでしたが、以後につながる学習になり、満足しています。リスニング、会

話にポイントを置いた特別講座などもっと開講して欲しいです。

- ・初日は何を言っているのか、ほとんどわからなくて不安だったけれど、2日目から文法の講義になって、先生がとてもわかりやすくかつ面白く話をしてくださって、楽しくなりました。後、先生と実際にほんの少しだけ話してみて、まだ発音に難がある事に気づかされたので、次のステップに進むための課題にみえて、とても良かったです。

7. まとめ

アンケートの感想からも、今回の講座の内容に対する総体的な評価は高かったと言えよう。学生の問題に感じた点としては、「個人的なレベルとクラスのレベルが合わない(高すぎる)」、「進行速度が速い」などがあった。いずれも学生と、設定クラスのレベルと学生個人のレベルの不適合によるものである。クラスレベルに関しては、初日、講師側からも想定していた学生のレベルとの落差に戸惑いが見られた。また、教室のスクリーンが黒板に重なってしまい、同時に使用すると黒板が使用しにくいという問題が指摘された。今後の課題としては次のようなものが挙げられる。

1. 学生が抱えている問題への対応不足
2. 留学後のフォローアップの問題
3. 教育設備の不足

(藤田益子)

後記

HSKのニーズも多様化しており、今年からはビジネスHSKの実施など、今後、更なる発展を遂げて行きそうである。今回は、学生の高度な運用能力を身に付けさせることを目的として、このようなHSKのノウハウを応用した中国語の実践講座を開設した。北京大学の対外漢語教育学院は、従来以上にこうした中国国家レベルでの中国語教育に力を注ぎ、ハイレベルな中国語能力の教育を行なっていくものと思われる。

対外漢語教育学院では、中国国内では、これまでもHSKを指標とした講義は行なったが、国外でこのような講義を行なったのは、今回が初めての経験であるとのことであった。担当講師の方々からも、海外の大学とこうした実践的な教育に関する共同プロジェクトを実施することに対して、高い評価を得ることが出来た。我々にとっても、今後の教育上の指針が明らかになったことは大きな利点であった。

また何より、受講生全員から、またこの授業に参加したいというアンケート結果を得られたことは、この上ない喜びである。

最後に、今回の講座開設に際し、北京大学対外漢語学院の李曉琪院長に、大きなご支援とご尽力を賜ったことについて、この場を借りて感謝いたします。

『統合的な中国語能力の要点』

また、国際戦略本部の高橋美保さんにも大変お世話になりました。此処に併せてお礼申し上げます。

(注)

¹ 講師略履：

<劉 超英>

1982年	北京師範大学 文学学士学位取得 卒業
1982-90年	北京語言文化学校にて対外中国語教育に従事 会話クラス、ヒアリングクラス、基礎中国語クラス、長文読解クラス等の語学技能クラスの授業を担当。授業と関連させての様々な形式の語学実践活動も行う。
1990-93年	北京大学対外漢語教育センター修士課程 現代中国語専攻
1993年 修士課程修了	文学修士学位取得
同年-現在	北京大学対外漢語教育学院（以前の対外漢語教育センター）にて対外中国語教育に従事。中国語総合クラス、口語クラス、ヒアリングクラス等の授業を担当。
1997-2004年	漢語精読教育研究室副主任、主任に就任
2002年	北京大学対外漢語教育学院助教授に就任

1995-96年	大学によりタイ華僑崇聖大学へ派遣される。 中国文学の教育に従事。
1997年 8 月	国家により日本大阪へ派遣される。 漢語水平考試（HSK）研修グループの授業を行う。
1999年10月-2000年 8 月	北京大学によりフランスへ派遣される。 高等師範学校において言語文学の教育研究に従事。

受賞歴：

1992年	光華奨学金取得
1997年	北京大学優秀教育賞を受賞
2002年	北京大学優秀教育賞を受賞

「中華人民共和国教師」及び「対外漢語教師」の資格を有する

<趙 延風>

1991年 9 月-1994年 7 月	北京大学対外漢語教育学院 在学 修士課程修了 文学修士学位取得
1994年 7 月-現在	北京大学対外漢語教育学院の教員となる。 中国読解クラス、中国歴史クラス及びHSK関連のクラスを担当。
現在	北京大学対外漢語教育学院 講師

1998年 8 月	中国国家より日本大阪へ派遣される。 漢語水平考試（HSK）研修グループの授業を行う。
1998年 3 月-1999年 3 月	北京大学により日本大阪へ派遣される。 HSK教育の研究を行う。HSK練習問題集を多数出版。

「対外漢語教師」の資格を有する

² 現在北京大学への合格水準は、HSK 7 から 8 級が必要といわれる。

³ <HSK受験案内>による

^{iv} 2004年の北京大学対外漢語教育学院訪問時の取材によるものと2005年3月北京大学対外漢語教育学院副院長張英教授による講演に基づいた内容である。

^v 原文は中国語。翻訳は、現代社会文化研究科共生社会論専攻1年本間敦子・藤田益子共訳によるものである。

なお、本稿は平成17年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（C）（2）、「近代から現代における中国語彙の変遷と社会的変化の関連性—北京語を基軸として—」、課題番号15520247）及び（基盤研究（C）（1）、「中国語のコーパス構築および近世中国語テキストの計量言語学的研究」、課題番号15520269）の成果の一部である。

『統合的な中国語能力の要点』



授業風景

